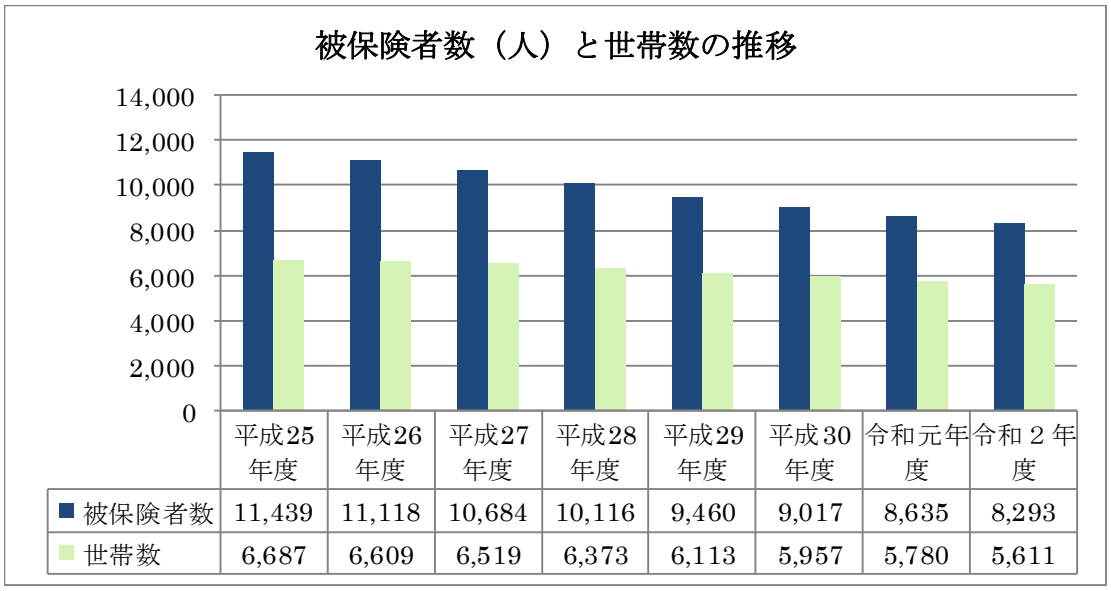
鴨川市国民健康保険の状況について

資料２

①鴨川市国民健康保険被保険者数と世帯数について

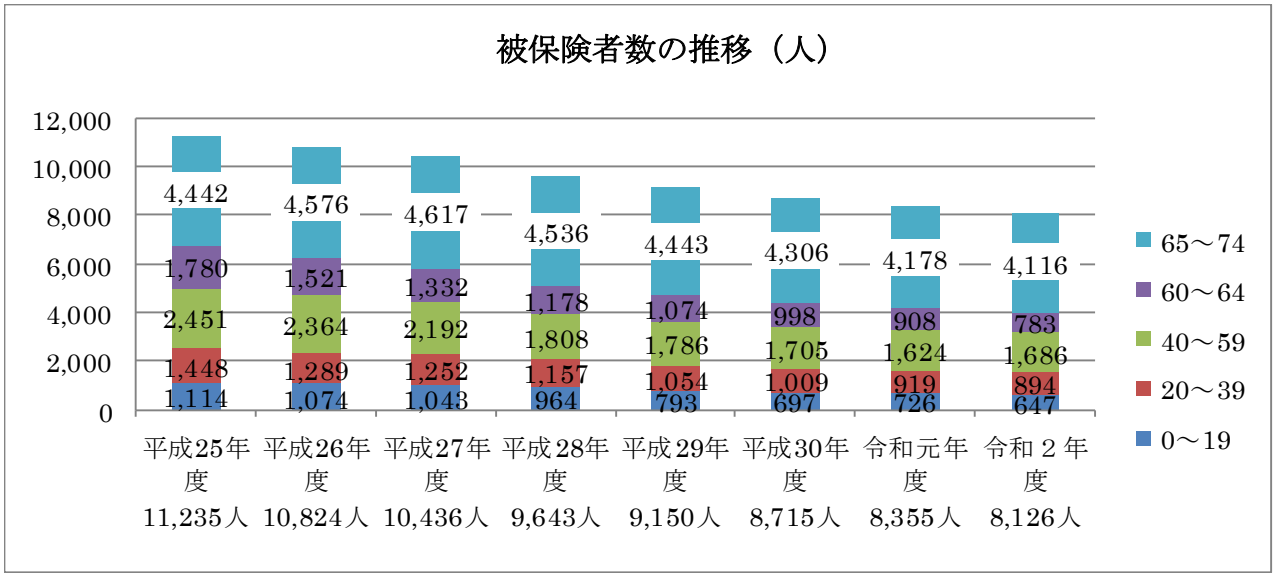


	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和２年度
被保険者数	11,439	11,118	10,684	10,116	9,460	9,017	8,635	8,293
世帯数	6,687	6,609	6,519	6,373	6,113	5,957	5,780	5,611

鴨川市の国民健康保険被保険者は、後期高齢者医療制度への移行や短時間労働者に対する被用者保険の適用拡大等の影響により年々減少し、令和２年度末、本市人口の 25.9%となっています。

（年間平均数）国民健康保険事業年報より

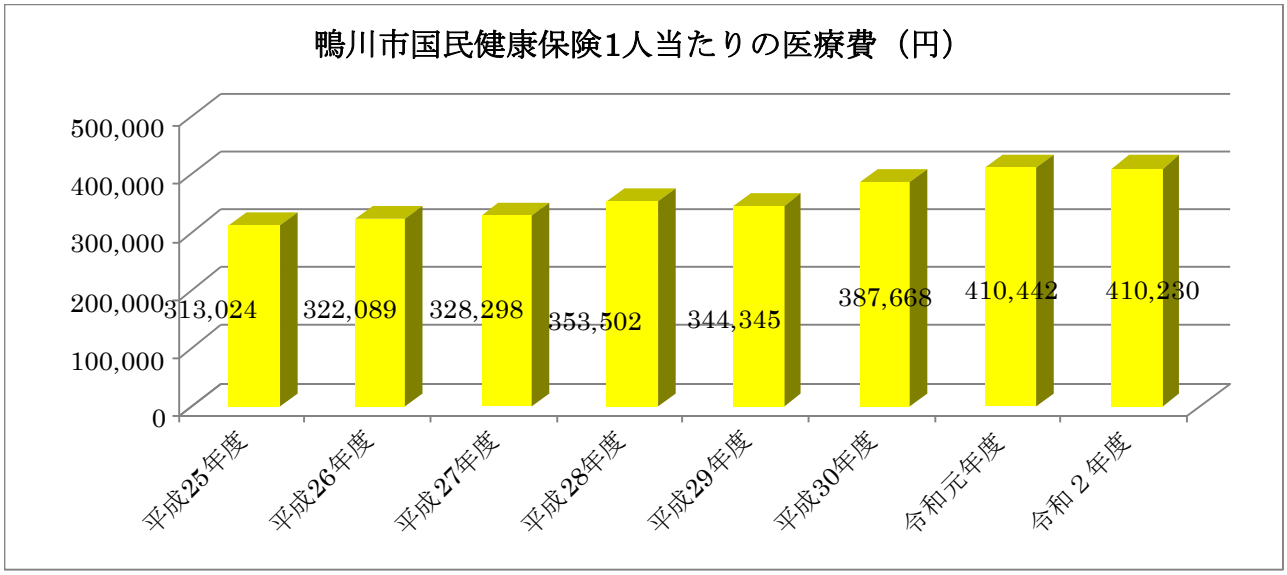
②鴨川市国民健康保険被保険者の年齢構成について



鴨川市の国民健康保険被保険者については、健康保険（後期高齢者医療保険を除く）と比較して前期高齢者（65 歳～74 歳）が多く加入しており、その割合は、全被保険者数の 50.7%に当たります。

（年度末数）国民健康保険事業年報より

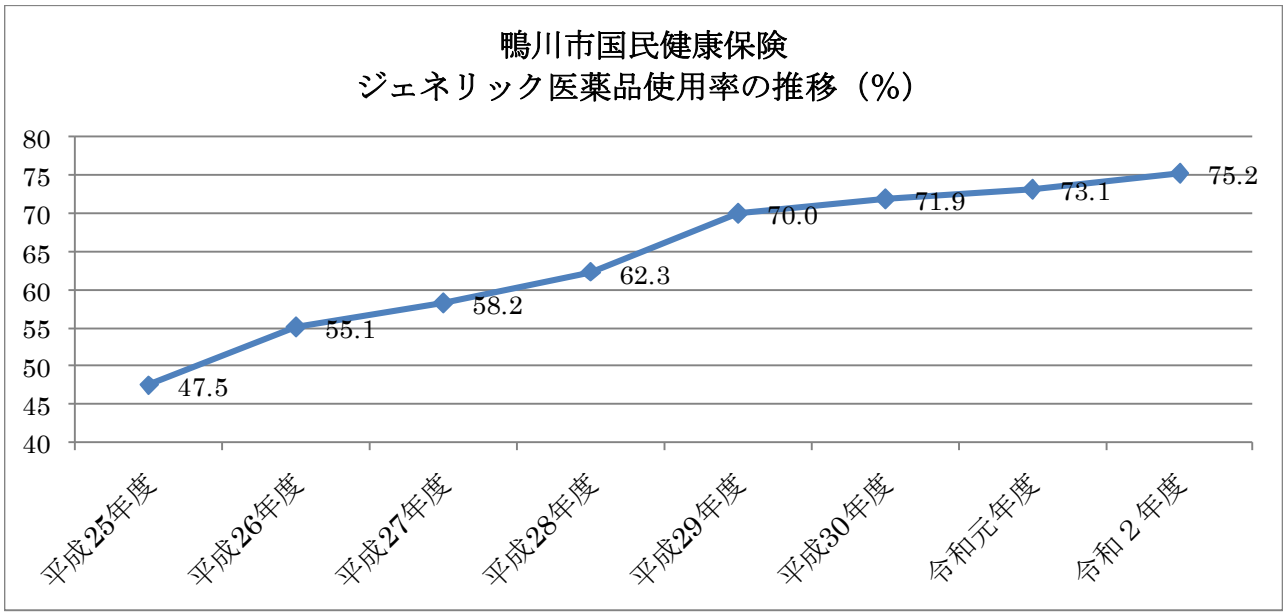
③鴨川市国民健康保険の医療費について



被保険者１人当たりの医療費は上がり続けていました。しかし、平成 29 年度については、短時間労働者に対する被用者保険の適用拡大等により、国民健康保険の被保険者数の大幅な減により医療費が減少に転じました。その後、被保険者数の減少が続くなか、医療単価の増加、重篤な疾病等により１人当たりの医療費は増加傾向にあります。令和２年度については、受診件数が減少となり微減となりました。

国民健康保険事業年報より

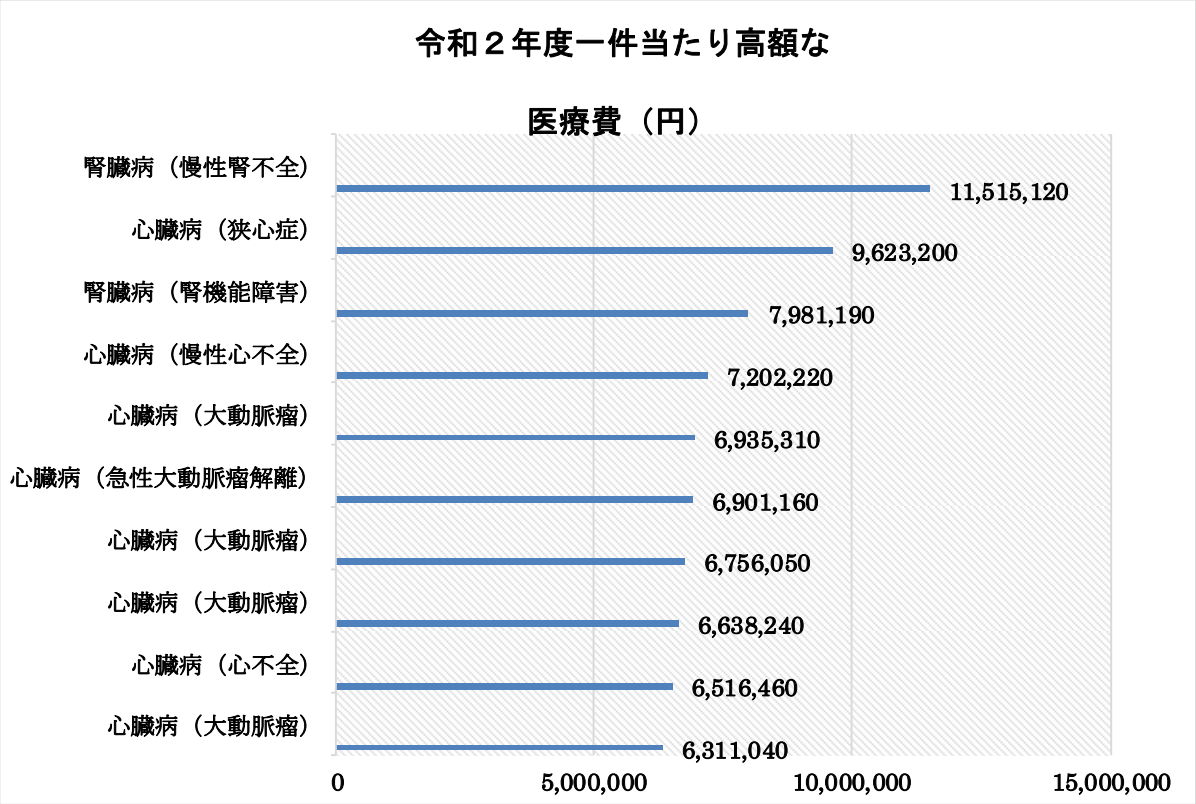
④医療費適正化事業について

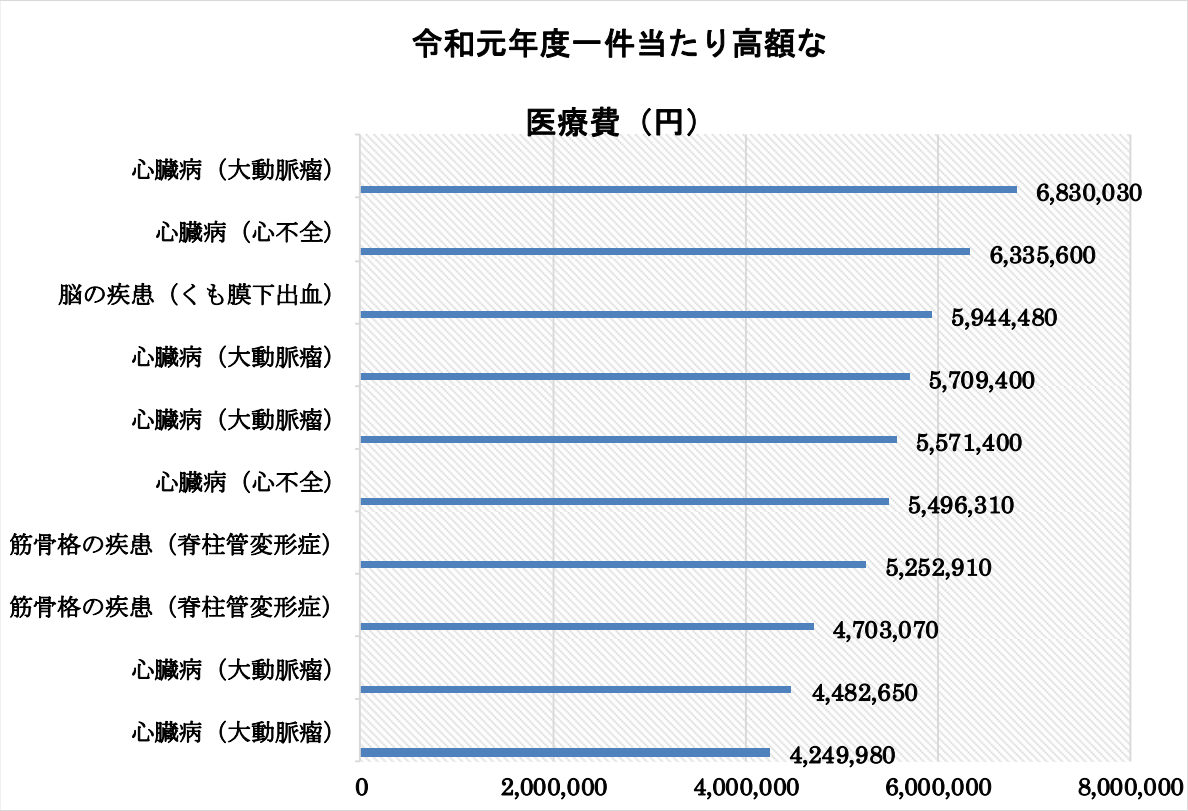


医療費の上昇を抑制する手段として、安価なジェネリック医薬品が推奨されています。鴨川市の使用率は年々上がってきています。国の目標は令和５年度までに、80%となっています。

国保総合システムより

⑤令和２年度鴨川市国民健康保険高額な医療費の内訳（上位 10 件）

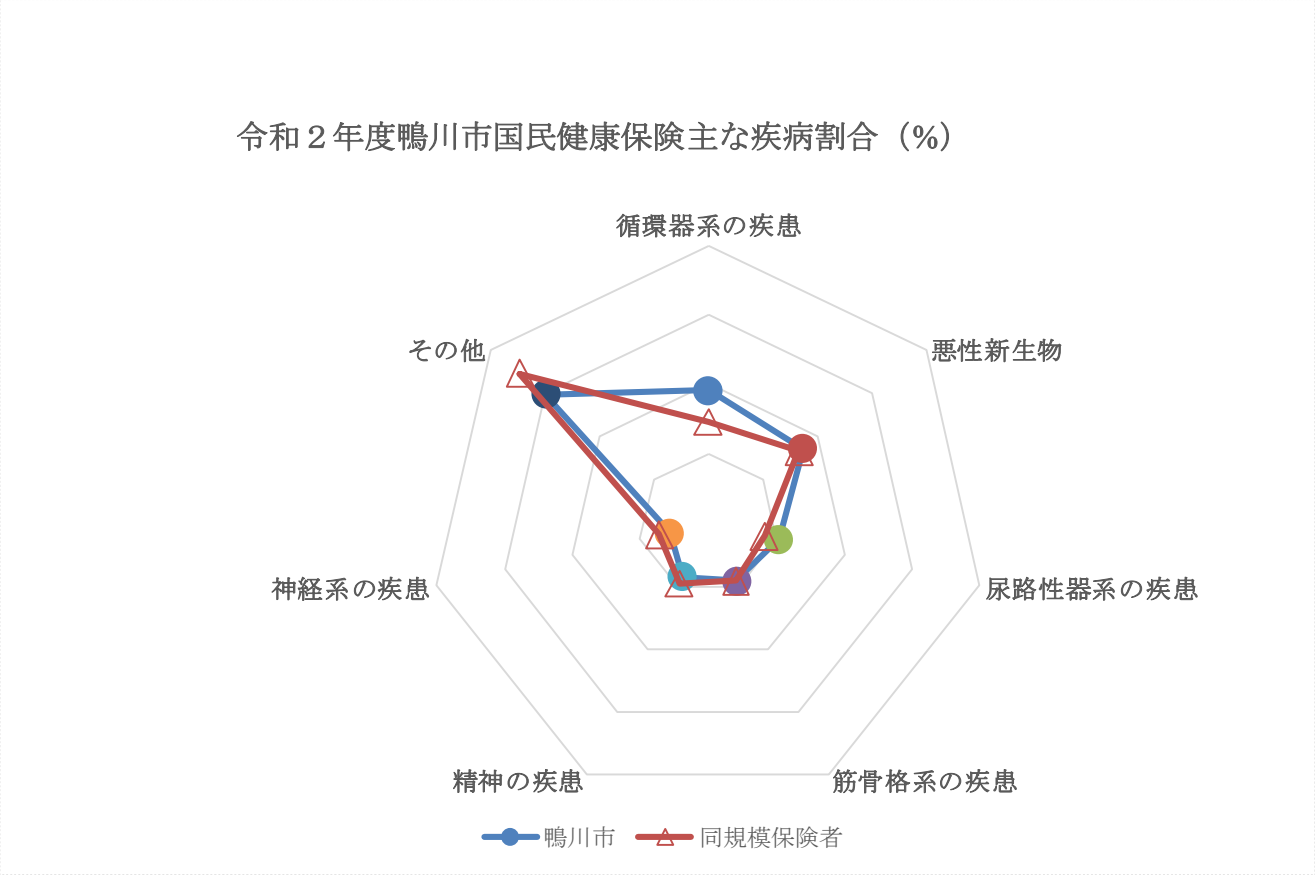




循環器系の心臓病の入院の医療費が上位を占めています。

国保データベースシステムより

⑥令和２年度鴨川市国民健康保険主な疾病割合（同規模保険者との比較）



	鴨川市	同規模保険者
循環器系の疾患	19.1%	14.6%
悪性新生物	17.3%	16.6%
尿路性器系の疾患	10.4%	8.2%
筋骨格系の疾患	9.2%	9.2%
精神の疾患	8.5%	9.6%
神経系の疾患	5.7%	7.2%
その他	29.8%	34.6%

鴨川市国民健康保険の主な疾病割合について、同規模保険者と比較すると循環器系の疾患割合が高い状況向となっています。

同規模保険者　：　千葉県内国保加入率が同程度の保険者（鴨川市 25.9%）
館山市、勝浦市、富津市、いすみ市、匝瑳市、南房総市、大網白里市

国保データベースシステムより

⑦令和２年度千葉県市町村１人当たりの診療費（医科・歯科の計　調剤は除く）

（単位:円）

1	鋸南町	436,840
2	大多喜町	424,777
3	睦沢町	423,891
4	富津市	406,183
5	鴨川市	399,871
6	南房総市	397,447
7	長南町	382,437
8	栄町	374,984
9	長柄町	368,643
10	勝浦市	367,317
12	館山市	362,998
54	松戸市	292,044

令和元年度千葉県市町村１人当たりの診療費（医科・歯科の計　調剤は除く）

（単位:円）

1	鋸南町	439,365
2	大多喜町	430,751
3	睦沢町	427,109
4	富津市	407,670
5	南房総市	406,340
6	長柄町	403,880
7	鴨川市	397,029
8	栄町	390,437
9	長南町	381,554
10	茂原市	363,731
11	いすみ市	363,589
12	香取市	363,190
13	館山市	363,182
54	東金市	291,031

令和２年度の鴨川市の１人当たりの診療費は、前年度比 0.7%増となっている。

千葉県下の診療費は全体的に微減となっており、規模が小さい保険者と県南部が上位を占めている。

国保データベースシステムより

（平成 30 年度～令和 2 年度）診療月ごとの医療費の推移（単位:千円）

年度	平成 30 年度	令和元年度	令和２年度
総医療費（千円）	3,112,992 千円	3,177,240 千円(前年度比＋64,248 千円)	3,072,571 千円(前年度比△104,669 千円)
年間平均被保険者数（人）	9,017	8,635	8,293
１人当たりの医療費（円）	345,236	367,949	370,502